



国際スポーツ大会開催！世界の人々がやってくる

～熊本の復興の姿と感謝の心を世界に発信～



熊本国際スポーツ大会推進事務局 業務調整監 菊池 昌弘氏

「国際スポーツイベントイヤー」が熊本に訪れる！

国際スポーツ大会の熊本開催にあたり、円滑な大会運営はもちろんのこと、世界中から来熊される大勢のお客様に「熊本の復興の姿と感謝の心」をもっておもてなししたいと思います！



「講義を聴く受講生の皆さん」

ラグビーW杯2019日本開催

＜9月20日～11月2日＞

日本(仏・豪州・南ア)など全世界20チーム参加。北は北海道から南は九州熊本まで全国12会場(札幌・熊谷・東京・袋井・豊田・神戸・博多の7会場と下記5会場)で全48試合実施予定。

＜主な会場＞



熊本でも開催(仏vs.トンガ(10/6)、ウエールズvs.ウルグアイ(10/13))

熊本スタジアム(W杯開催時の呼称)
 (熊本県民総合運動公園陸上競技場：熊本大会会場)
 <観戦者数6万人目標達成！>
 ・チケットが買えなかったひと
 「桜町のフェンション」で応援しよう！



ラグビーの精神

One for all, All for one

(1人はみんなのために、みんなは一つの目的(トライ)のために)

日本代表(桜ジャージー)

決勝トーナメント進出を狙う！

初めてでもルールを知らなくてもラグビーは楽しめる！

ラグビーは陣取りゲーム



楕円形のボールを敵陣のインゴールにトライ(5点)するかキックでゴールポストの上をこえる(3または2点)ことで得点を競うもの。



ボールを持つ味方よりも後ろでフレーするのが基本で、ボールの奪い合いに激しく体をぶつけ合うのを見るだけでも面白い！！

激しい格闘技も試合が終われば「ノーサイド！」



女子ハンドボール世界選手権2019熊本開催

＜11月30日～12月15日＞



日本(独・仏・韓)など世界24チーム参加(最多は欧州/ロシアから13)



熊本県内5会場で96試合(予選・本戦ラウンド、順位決定戦)

<観戦者数30万人目標達成！>



熊本県立総合体育館
 八代市総合体育館
 山鹿市総合体育館

優勝チームに贈られる優勝トロフィー

日本の女性ハンドボール選手をモデルにした7ポンス像で、台座部分は熊本県産の素材。



入賞メダル(金・銀・銅)上位3チームに贈られる

フレートは熊本産の桜の花を熊本県産で表現。リボンには山鹿市産絹糸を使い日本の伝統技術の組紐を採用。熊本らしさ、日本らしさを表現。

おりひめJAPAN メダルを狙う！



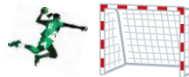
7人制から7月7日七夕に因みおりひめと命名。おりひめが天の川を優雅に渡るように、日本が世界に羽ばたくことを願って！

大会キャッチフレーズ

Hand in Hand One Ball Unites the World
 (手と手を携えて！ひとつのボールが世界を結ぶ！)

ルールは簡単！

7人制、試合時間30分ハーフで選手交代自由。ボールを持ち相手ディフェンスを抜き敵ゴールエリアライン外から時速100km超でシュート！ゴールを割れば1点得点



世界トップレベルの跳躍力、スピード感、瞬発力で躍動する選手たち！
 みんなで最高のチームを応援しよう！

2020年東京オリンピック・パラリンピック

オリンピック7/24～8/9 17日間 → 出場207国地域、12000人以上予定
 33競技339種目

パラリンピック8/25～9/6 13日間 → 出場164以上の国地域予定、4400人
 22競技537種目

関連する主な熊本県イベント

■ 聖火リレー <熊本県2020年5/6-7 2日間で約160人選考>



■ ドイツ水泳直前キャンプ(2020年7月アクアドームくまもと)



■ 女子レスリング日本代表強化合宿(2018年熊本県民総合運動公園体育館)



■ パラアイスホッケー日本代表強化合宿(2018年アクアドームくまもと)



地域活性化に向けた取り組み(くまもとハロープログラム)

熊本の次世代に有益なレガシー(遺産)を残していこう！

取組みの4つの方向性

1. 震災からの復興の姿の発信 ①「すまい」の再建 ②熊本城の復旧 ③益城町の復興まちづくりなど



熊本城(復旧工事中の大小天守閣)

2. スポーツの普及と振興 ①選手育成・強化 ②スポーツの普及と振興(例：小中高生向けラグビー&ハンドボール教室など)



ラグビー教室 ハンドボール教室

3. インバウンド観光の推進 ①ターゲット国を設定し、効果的に誘客(ラグビーW杯仏・豪州・ウエールズ・ニュージーランド 女子ハンドボール世界選手権仏・独) ②FIT対策 ③団体旅行対策/阿蘇天草人吉を巡る観光など ④おもてなし向上/受入環境整備 ※FIT: Foreign Independent Tour<海外個人旅行>



ラグビー豪州代表 女子ハンドボール仏代表

4. 国際交流の促進

①代表選手と、子供たち/地域住民との交流 ②区ごとに各国応援チームを組織



ラグビールーマニア代表と 女子ハンドボールアンゴラ代表と交流する中学生



阿蘇山と草千里 天草・イルカウォッチング 人吉球磨川下り

取材を継いで：ラグビーW杯、女子ハンドボール世界選手権、そして2020東京オリンピック・パラリンピック開催にともない、県外、海外からたくさんのお客様が来熊されます。まさに国際交流の地好の機会が皆さんたちひとりひとりのおもてなしのこころが大会を盛り上げ成功させる鍵になるのではと思います。今度もご協力ありがとうございました。(くまもと県民カレッジ広報ボランティア HK作成)